

平成22年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	<京都市水道事業特別会計> 上水道施設整備事業		
予算額	8,900,000 千円	新規・継続の別	継続 (一部新規)
		来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担当課	水道部 管理課 (672-7743)		

[事業実施に至る経過・背景など]

「京(みやこ)の水ビジョン」, 「京都市上下水道事業 中期経営プラン(2008-2012)」に掲げる事業を着実に推進している。

[事業概要]

水道事業について, 全市的な公共投資の抑制を踏まえつつ, 平成22年度は, 総事業費89億円を計上し, 老朽化施設の改築更新, 改築更新に併せた施設及び管路の耐震化, 水需要に応じた施設規模の適正化などを進めていく。

平成22年度は, 主に次のとおり実施する。

- ・山ノ内浄水場廃止に向けた関連工事(事業費約13億8千万円)
 蹴上浄水場の1・2号薬品ちんでん池の築造及び設備工事
 山ノ内ポンプ場の整備及び設備工事
- ・蹴上浄水場の粉末活性炭接触池の築造(事業費約3億2千万円)
- ・配水管路の更新及び耐震化を継続して実施(事業費約49億円)

事業名		予定額		主な事業内容	
		億	百万円		
上水道施設整備事業	取水・導水施設	2	70	疏水路改良, 若王子取水池増設	
	浄水施設	32	10	蹴上浄水場	1・2号薬品ちんでん池築造及び設備工事 粉末活性炭接触池築造
				松ヶ崎浄水場	急速かくはん池改良, フロキュレータ設備取替え
				山ノ内浄水場	ポンプ場整備及び設備工事(北側敷地)
				新山科浄水場	低区配水池内面改良, 次亜貯蔵槽取替え
	配水施設	49	00	幹線配水管布設替え, 連絡幹線布設 2.0km 支線配水管布設及び布設替え 17.0km 補助配水管布設及び布設替え 13.5km	
その他施設	5	20	洛西配水場遠隔監視制御施設取替え, 水道施設耐震化計画策定		
計	89	00			
上水道安全対策事業		(4)	(78)	配水管相互連絡	

注 上水道安全対策事業は, 上水道施設整備事業の一部で内数である。

山ノ内浄水場廃止関連(再掲)	(13)	(82)	蹴上1・2号薬品ちんでん池築造, 山ノ内ポンプ場整備
----------------	------	------	----------------------------

平成22年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	<京都市水道事業特別会計> 鉛製給水管単独取替事業		
予 算 額	3,000,000 千円	新規・継続の別	継続 (一部新規)
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担 当 課	水道部 給水課 (672-7747)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>鉛製給水管は、水道創設期から使用されてきましたが、水道水質への不安の払拭や有収率(年間の給水量に対してお客さまが使用された水の総量の割合)の向上等を目的として、配水管布設替工事や漏水修繕に併せた取替え、鉛製給水管の取替えを目的とした単独取替工事により、配水管から水道メーターまでの鉛製給水管の解消を進めてきている。</p> <p>[事業概要]</p> <p>鉛の溶出による水道水質への不安を払拭し、より安心して水道水をお飲みいただけるようにするとともに、漏水への対応を目的に、平成21年度は、鉛製給水管単独取替工事の事業費として22.5億円を計上し、約9,000件の取替えを実施している。平成22年度は、事業費を30億円に拡充し、約12,000件の取替えを実施する。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度から20年度までは、鉛製給水管の取替えを目的とした単独取替工事を各年度、事業費4億円、2,000件程度実施してきました。 ・道路部分の鉛製給水管の割合29.4%(平成21年9月末現在) ・道路部分の鉛製給水管の割合23.1%(平成23年3月末予定) 			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	＜京都市公共下水道事業特別会計＞ 公共下水道建設事業		
予算額	15,700,000 千円	新規・継続の別	継続 (一部新規)
		来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課 (672-7839)		

[事業実施に至る経過・背景など]

「京(みやこ)の水ビジョン」,「京都市上下水道事業 中期経営プラン(2008-2012)」に掲げる事業を着実に推進している。

[事業概要]

公共下水道事業について、**全市的な公共投資の抑制を踏まえ**,平成22年度は、総事業費157億円(平成21年度当初予算175億円)を計上し、浸水対策、合流式下水道の改善、高度処理の推進、地震対策を含めた老朽施設の改築更新等を進めていく。

平成22年度に取り組む主な事業は、以下のとおりである。

- ・地下施設の重大な浸水被害を防ぐための、京都駅地下街周辺での幹線新設による浸水対策(事業費8千万円)
- ・防災部局と連携した、内水ハザードマップ^{※1}の作成及び配付
- ・合流式下水道から河川に流出する雨天時下水を削減するため、貯留幹線の整備等(事業費約33億円)
- ・鳥羽・伏見水環境保全センターにおける高度処理施設の整備等(事業費約18億円)
- ・広域避難場所におけるマンホールトイレ^{※2}の設置及び避難所からの排水を受ける下水管等の重要管路の耐震化(事業費約4億円)
- ・汚泥を鳥羽水環境保全センターへ送り、処理を効率化するための汚泥集約施設の整備(事業費約16億円)

目的	予定額		主な事業内容
	億	百万円	
浸水対策	13	28	<ul style="list-style-type: none"> ・地下街(京都駅周辺)における浸水対策(塩小路幹線) ・新川流域における雨水調整池(久世高田調整池)の整備 ・<u>内水ハザードマップの作成・配付</u> 等
合流式下水道改善	33	49	<ul style="list-style-type: none"> ・西部山ノ内地域(七条東幹線,河原町分流幹線),伏見大手筋地域(大手筋北幹線),東山地域(九条分水室・放流きよ)における貯留幹線の整備 等
汚水整備	5	82	<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉等の整備(汚水管の布設)
高度処理	18	00	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽・伏見水環境保全センターの高度処理施設整備 等
改築更新	84	26	<ul style="list-style-type: none"> ○管きよ ・経年管対策,重要管路(避難所からの排水を受ける下水管等)の耐震化,<u>広域避難場所におけるマンホールトイレの設置</u> 等 ○ポンプ場 ・石田ポンプ場の設備更新 等 ○水環境 ・鳥羽・伏見・石田水環境保全センターの設備更新,処理施設の保全耐震化,汚泥圧送管布設 等 センター
その他	2	15	<ul style="list-style-type: none"> ・水環境保全センターの場内整備 等
計	157	00	

※1 内水ハザードマップ・・・消防局等と連携し、京都市防災マップの改訂に合わせて、過去の浸水被害の発生状況等による内水ハザードマップを作成する。

※2 マンホールトイレ・・・災害時に被災者のトイレ機能の確保のため、主要な広域避難場所においてマンホールトイレの設置を進める。

平成22年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	<京都市公共下水道事業特別会計> 京都駅周辺地区浸水対策事業(公共下水道建設事業の一部)		
予算額	80,000 千円 (公共下水道建設事業の一部)	新規・継続の別	新規
		未来まわりの推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課 (672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>近年、全国各地で大雨による地下施設の浸水被害が多発している。</p> <p>地下施設においては、地上の降雨状況など外の様子が分かりにくいいため避難が遅れることや、道路が浸水すると一気に水が流れ込んでくるため脱出が困難になるなど、人命に係わる重大な被害が予想される。</p> <p>京都駅周辺は、本市の玄関口であり、交通・商業の拠点として、地下鉄駅や地下街など地下空間の利用が高度に発達している地区であることから、浸水安全度の向上を図ることが緊急の課題となっている。</p> <p>[事業概要]</p> <p>京都駅周辺地区の浸水安全度の向上を図るため、国が創設した「下水道総合浸水対策緊急事業」による国庫補助事業の採択を受け、平成22年度から塩小路幹線の整備に着手する。</p> <p>塩小路幹線は、本市の計画降雨である10年確率降雨(62mm/h)に対してもマンホール等から道路への溢水が発生しないように規模を決定しているが、それ以上の豪雨時にも、道路冠水による地下施設への浸水を防水板や土のう等で防止できるような状況まで浸水の深さの軽減を図ることができる。</p> <p>あわせて、全国的に道路のアンダーパス部(立体交差で掘り下げられている道路部分)における車両の水没事故が多発しているが、当該幹線を活用し、堀川通りや河原町通りなどのJR軌道下への雨水の流入を軽減する。</p> <p>さらに、軌道を横断している既存の主要な幹線下水道が老朽化しており、地震時に横断箇所の崩壊や陥没による軌道への重大な影響が懸念されるため、塩小路幹線をバイパス管として活用し、地震対策及び老朽化対策を目的とした更新事業を行うこととしている。</p> <p>(参考)塩小路幹線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時に雨水や汚水を一時的に溜めておく施設(雨水貯留幹線)。 ・場所:塩小路通(大宮通り～須原通り) ・貯留量:12,000 m³ ・口径:3,200mm ・延長:1,500m ・総事業費:25 億円 ・事業期間:平成 22 年度～平成 25 年度 			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	<京都市地域水道特別会計> 大原簡易水道の再整備		
予算額	355,261 千円	新規・継続の別	継続
		来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠
担当課	総務部 地域事業課 (241-1890)		
[事業実施に至る経過・背景など] 左京区大原地域における水道水の供給については、昭和45年に地元住民の方々が設立した大原簡易水道組合により行われてきたが、地元では水道施設の老朽化や、水量の逼迫による消火用水への対応等に不安を抱え、今後、水道施設等の再整備等、組合による管理運営を続けることが困難と判断し、水道施設の本市への移管を要望された。 約2,000人の人口を抱え、多くの観光客が訪れる大原地域に、将来にわたり、安全な水道水を安定して供給し続けるため、平成21年10月1日に組合により運営されていた簡易水道事業の移管を受け、老朽化への対応や防災上の観点から、簡易水道施設(浄水場、配水池、配水管等)の再整備を行うこととした。 (参考) 大原簡易水道 ・沿革:昭和45年地元大原簡易水道組合により京都府の水道事業認可取得。同46年給水開始。 ・施設規模(計画給水人口):2,520人 ・加入件数:785件<平成21年12月末現在> ・施設現況:第一浄水場(施設能力:900m ³ /日、水源:河川伏流水、緩速ろ過方式) 第二浄水場(施設能力:700m ³ /日、水源:浅層地下水、急速ろ過方式)			
[事業概要] 平成22年度は、大原簡易水道再整備工事に着手する。 1 事業名称 大原簡易水道再整備事業 2 整備範囲(給水区域) 京都市左京区大原(10町)及び八瀬花尻町の各一部 3 整備内容 膜ろ過設備新設、配水池新設、配水・取水ポンプ更新、配水管新設・更新及び消火栓増設等 4 平成22年度予算(整備費) 再整備工事費など 355,261千円 5 事業スケジュール 平成22年度 再整備工事着手 平成28年度 再整備工事完了(予定)			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	<京都市特定環境保全公共下水道特別会計> 北部地域特定環境保全公共下水道整備										
予算額	1,801,700 千円	新規・継続の別	継続								
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	局配分枠								
担当課	総務部地域事業課(北部特環) (672-7730)										
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市北部地域の下水処理対策は、住民の方々の健康で快適な生活の確保はもとより、下流域や観光地における水環境の保全のためにも必要であり、全市の生活排水処理率 100%の実現に向け、下水道等による整備と浄化槽の設置に関する普及対策を含めた総合的な対策が必要である。</p> <p>これまで、下水道の整備は市街化区域やこれに隣接する市街化調整区域を中心に整備を進め、その普及率は全市人口に対して 99.1%になっている。しかし、大原、静原、鞍馬、高雄の4地区においては、比較的人口密度も高く、汚水量も相当量であることから、本市では平成 19 年 5 月「京都市北部地域等総合下水処理対策」を策定し、大原、静原、鞍馬、高雄の4地区を特定環境保全公共下水道の手法で整備することとした。</p> <p>本事業の整備により、京都市内の下水道人口普及率は 99.4%に向上する。</p> <p>(参考)特定環境保全公共下水道事業 公共下水道のうち、農山漁村及び観光地など市街化区域外を対象とした下水道事業であり、計画人口が1千人以上1万人以下など一定の要件を満たすもの</p> <p>[事業概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> 事業名称 京都市北部地域特定環境保全公共下水道事業 整備範囲 大原、静原、鞍馬、高雄の4地区 対象面積:125.6ヘクタール 総延長距離:約 53Km 接続対象戸数:1,465戸 総事業費 概算事業費は、約 79 億 28 百万円 事業スケジュール 平成 21 年度から整備に着手し、平成 26 年度までの 6 箇年で 4 地区すべての整備を行う。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>平成 20 年度</td> <td>実施設計を開始</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度</td> <td>4 地区の工事に着手</td> </tr> <tr> <td>平成 22 年度以降</td> <td>順次、供用開始</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>4 地区の整備を完了</td> </tr> </table> 				平成 20 年度	実施設計を開始	平成 21 年度	4 地区の工事に着手	平成 22 年度以降	順次、供用開始	平成 26 年度	4 地区の整備を完了
平成 20 年度	実施設計を開始										
平成 21 年度	4 地区の工事に着手										
平成 22 年度以降	順次、供用開始										
平成 26 年度	4 地区の整備を完了										